

2025（令和7）年度 熊本学園大学附属図書館における  
教育及び研究・学修支援実態調査のアンケート実施について（報告）

本アンケートは、熊本学園大学附属図書館のサービス向上のために学部生・大学院生・教員の利用動向を調査し、ニーズを把握することを目的として実施しました。多くの貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。下記のとおりご報告いたします。

## 【アンケート目的】

本学図書館は、大学組織の一部であり、学生と教員（研究者）を主たる利用対象者として必要な学術情報を効果的に提供することを目的としている。

近年の大学を取り巻く環境の変化や学修スタイルの変化に伴い、従来の学修支援から能動的な学修支援への転換、そして図書館のDX推進（新しい「デジタル・ライブラリー」の実現）に向けて検討が始まったところである。現在の図書館は、熊本学園創立50周年記念事業の一環として1995（平成7）年4月1日に開館し、今年で30年という節目の年を迎えた。この間、ラーニング・コモンズフロアの設置や熊本地震による大幅改修、コロナ禍を経て現在に至っている。

教育の質向上と学修支援の充実を図ること、学修環境の充実に資する学術情報基盤を整備し、課題解決や自主的な図書館利用促進、到達目標となる教育研究及び学修の成果へと繋げていくことをふまえ、本アンケートを実施し、現状の分析と継続的な効果の測定を目的とする。

対象：専任教員・客員・シニア客員教授・特任教員・非常勤講師・特定事業研究員・実務家みなし  
教員

方法：ポータルサイトによるWebアンケート

期間：2025（令和7）年12月17日（水）～2026（令和8）年1月16日（金）

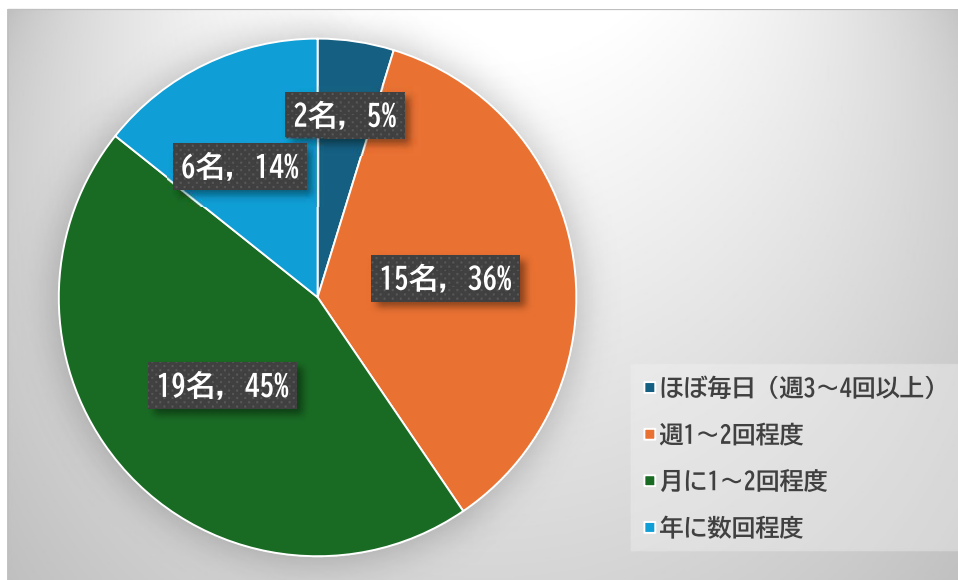
目的：図書館利用者のニーズ把握や教育・学修支援環境の整備状況を知る。

教育の質向上と教育・学修支援の充実を目指す。

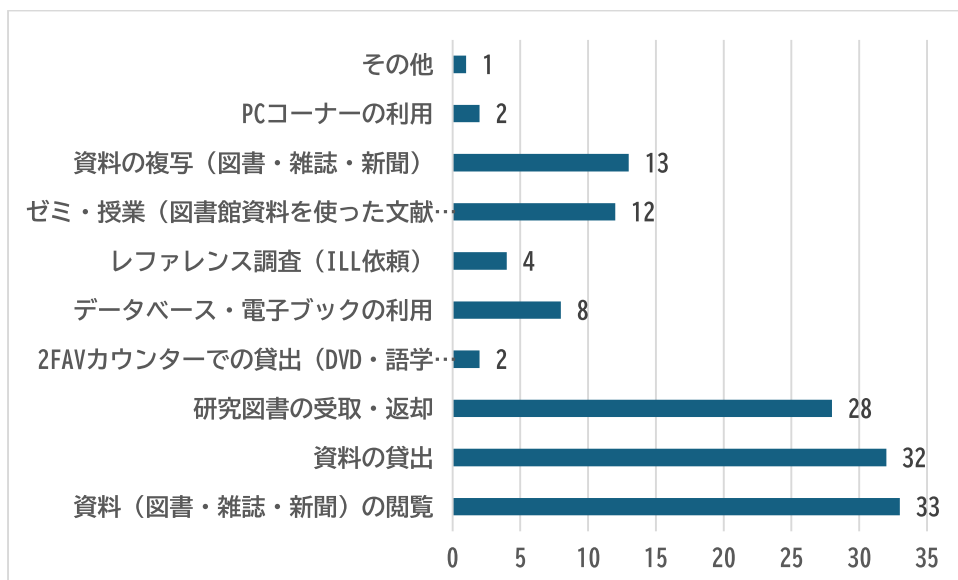
教育・学修環境の充実に資する学術情報基盤を整備し、課題解決や自発的な図書館利用促進を目指す。

回答数：42名 回答率：10.4%（対象者数：402名）

【Q.1】 図書館をどのぐらいの頻度で利用していますか？  
 (あてはまるものを1つ選んでください)

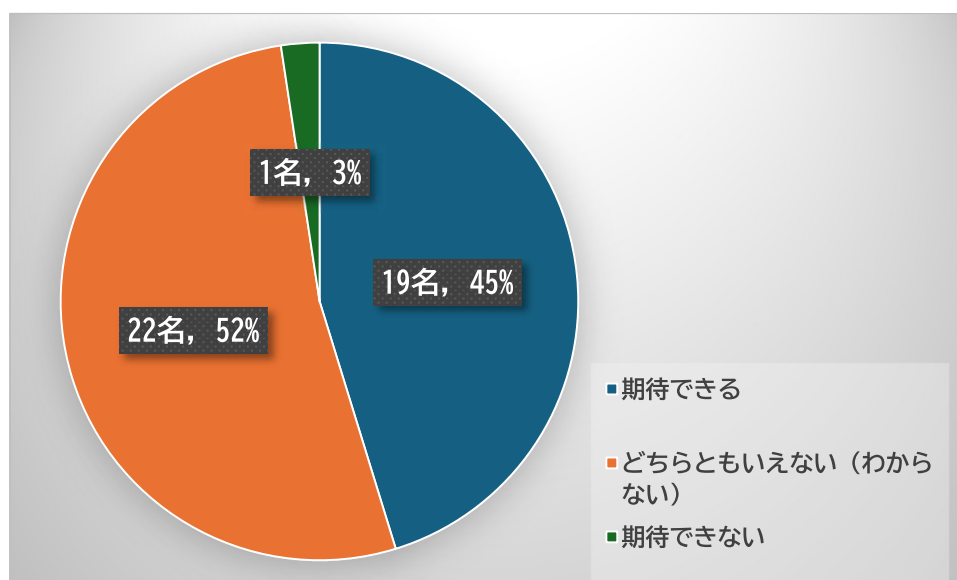


【Q.2】 図書館を利用する目的を教えてください。(複数選択可)

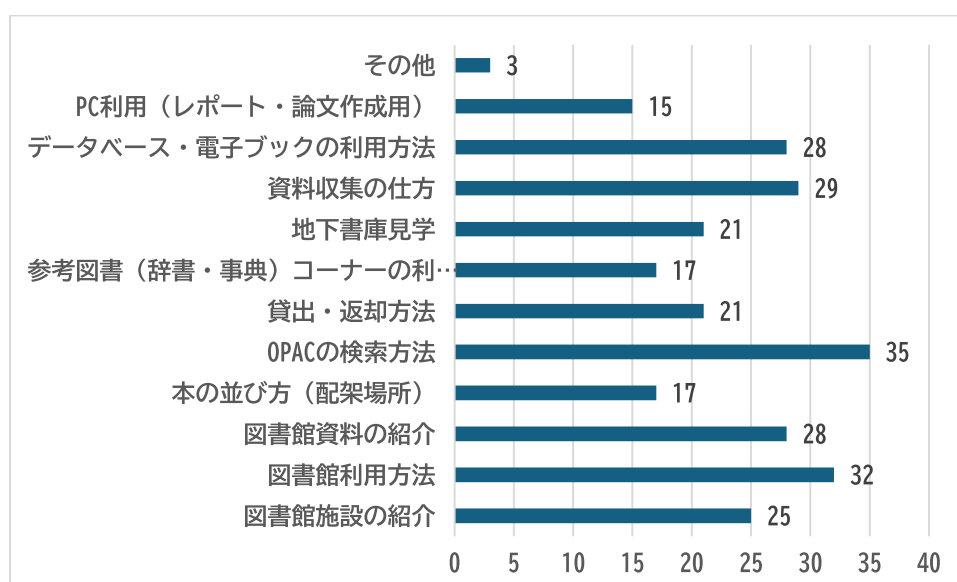


その他：研究会への参加

【Q.3】 図書館では毎年、新入生ガイダンス及びステップアップ・ガイダンスを実施しています。ガイダンスを受けた学生の様子についておたずねします。レポート課題への取り組みや、日々の学習への効果はいかがでしょうか？（あてはまるものを1つ選んでください）



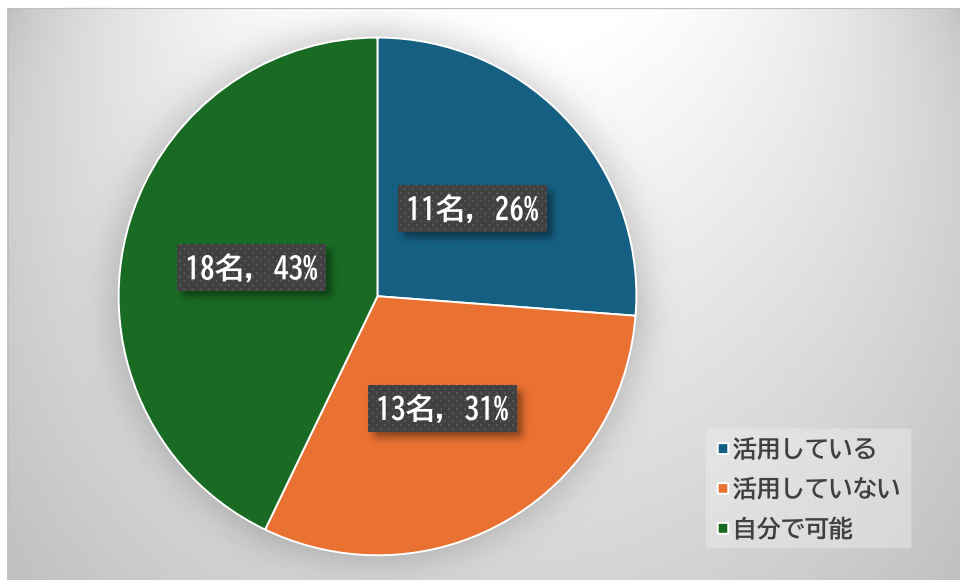
【Q.4】 ガイダンスで必要と思われる項目は何ですか？（複数選択可）



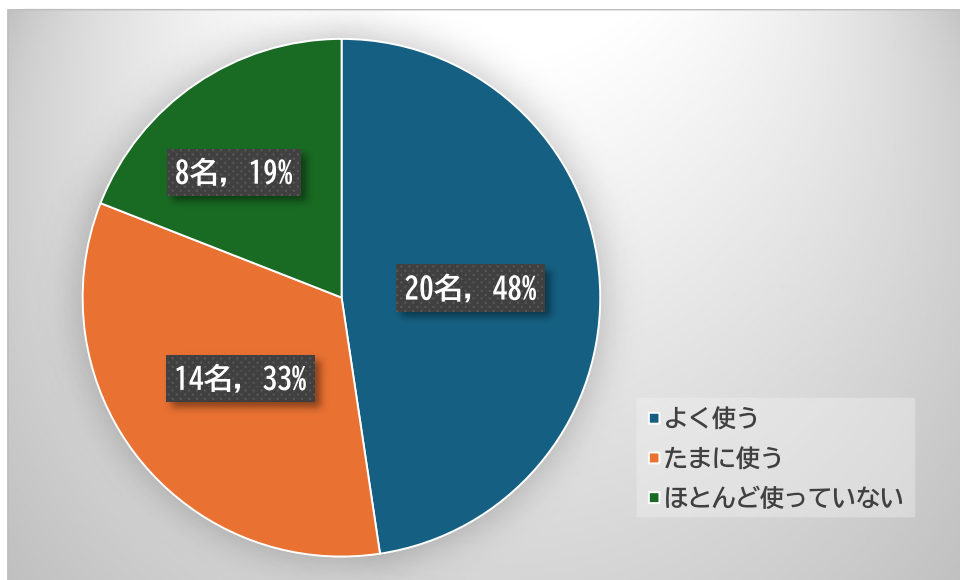
その他：

- ・スマホでは得られない情報を得られることを知らせる
- ・学生は論文作成の知識もない場合も多いためゼミ担当教授を中心に論文作成のチュートリアルを行うこと
- ・図書館で私語や通話をしてもよい場所とそうでない場所をきちんと指導してほしい。

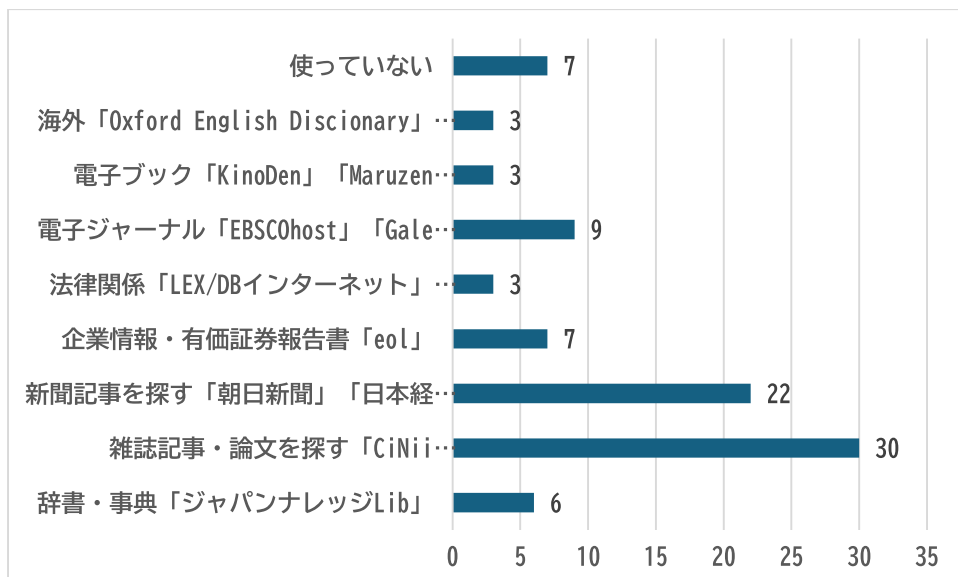
【Q. 5】 日々の研究や情報収集する際、図書館スタッフによるサポートを活用していますか？



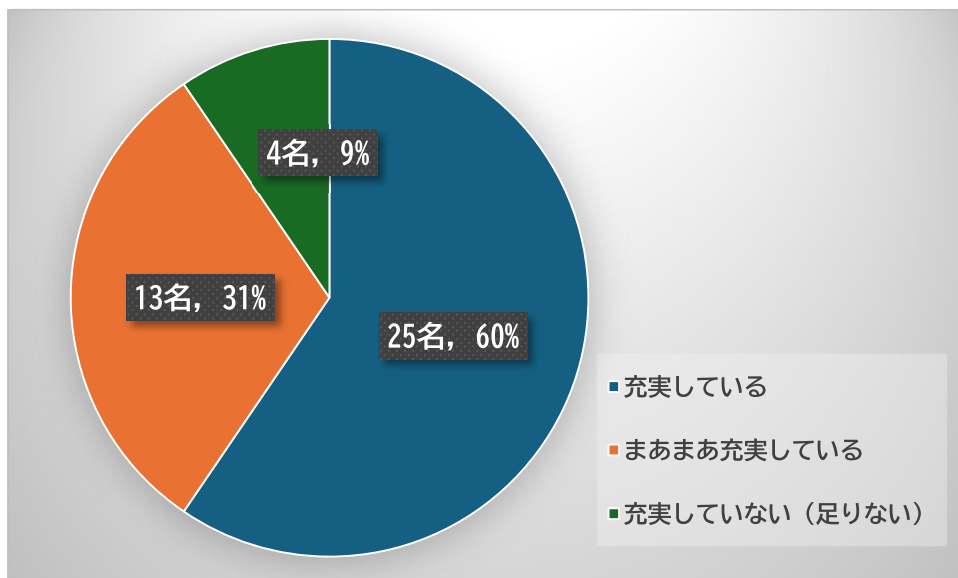
【Q. 6】 日々の研究、情報収集に効果的な情報ツール（新聞・論文記事・判例・企業情報データベース）を使っていますか？



【Q.7】使っているデータベース・電子ジャーナル・電子ブックを教えてください。  
 (複数選択可)

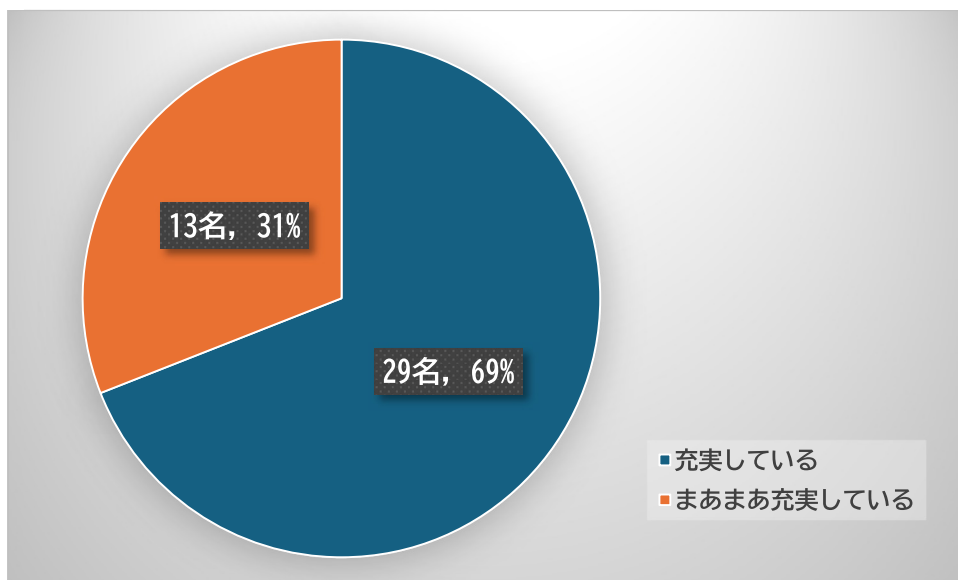


【Q.8】日々の研究、情報収集に図書館のサービスは充実しているでしょうか？  
 (開館時間、開館日、人的支援など)



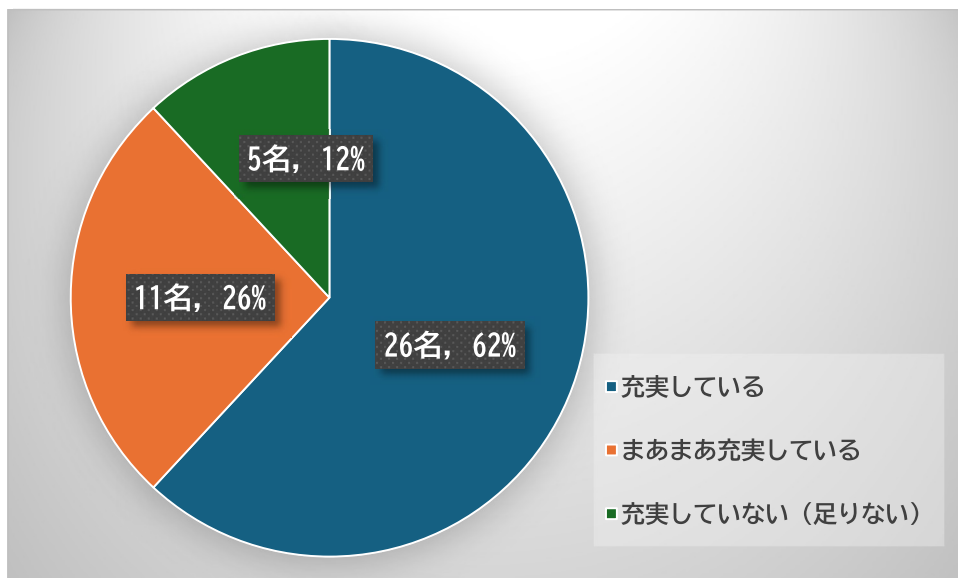
【Q. 9】 図書館の設備は充実しているでしょうか？

(座席数、研究個室、グループ学習室、パソコン、コピー機、ロッカー、空調、アメニティ、 飲料・飲食可など)

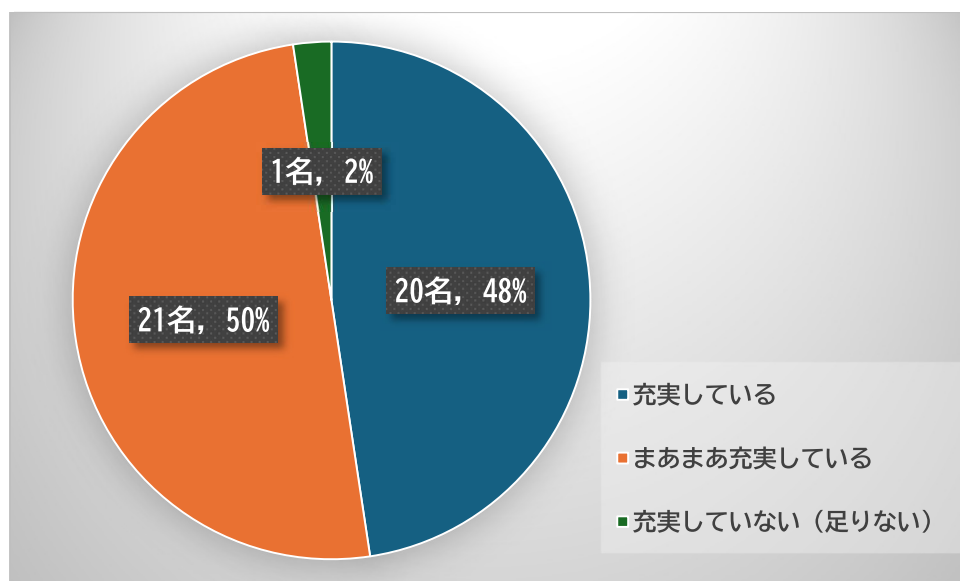


【Q.10】 図書館の資料は充実しているでしょうか？

(図書、雑誌、新聞、視聴覚資料、授業関連資料、資格・試験問題集など)



【Q.11】学生の主体的・能動的な学び（アクティブラーニング）に、図書館の学修支援機能は充実しているでしょうか？



【Q.12】図書館への要望や改善してほしい点などがありましたらご自由に記入してください。

例：「図書や視聴覚資料を充実してほしい」「電子ブックを増やしてほしい」  
「開館時間を延ばしてほしい」など

- ・いつもお世話になっております。今のところ要望や改善点はありません。今後もよろしく願います。（複数回答）
- ・コロナ禍以前は、授業でラーニングコモンズをよく使わせていただいていたと思います。開放的な雰囲気、資料収集のしやすさ、また大型のモニターやパソコンの借り出しができることなど、グループワークに適した環境が整っていて、学生たちにも好評でした。コロナ禍以降、授業での使用予約ができなくなったのは残念です。ぜひまた授業でラーニングコモンズを使わせていただきたく思います。（もしまた使用予約ができるようになっているのであれば、私の理解不足でした。ごめんなさい。）
- ・電子ジャーナルで、ダウンロードしたい論文の分野に限りがあるので、充実してほしい。他大学へ論文を取り寄せることもできるが、やはり電子データで入手したい。
- ・日経 NEEDS の Financial Quest（企業財務情報）を入れていただけると大変助かります。
- ・オンラインで使えるデータベースをいっそう充実していただけるとありがたいです。
- ・西日本新聞のデータベースを導入していただけると助かります。
- ・学生に参考文献や資料の探し方を教える際に、図書館内に学生が PC を触りながら授業できる部屋があるとよいなと思っています（PC が備えられたグループ学習室のような部屋など）。PC 教室などで探し方を教えても、そこで見つけた文献を実際に図書館に借りに行くことを億劫がる学

生も多いので、その場で探し・借りるところまで完結させられると、習慣化させられるかなと思いました。

- ・電子ジャーナルの数の充実
- ・教育研究図書の予算をもう少し拡充してほしいです。ゼミのグループワーク等で使用する資料を購入するのに使っていますが、現状では予算が足りません。
- ・研究図書を依頼してから時間を要する（立替の場合も受け取りまでに時間を要する）ので、少し早めにいただきたいと思うときがあります。
- ・ちくま学芸文庫をそろえてほしいです。
- ・洋書を充実させてほしい。
- ・データベースに限りがあり論文が入手できないため、他の所属大学のデータベースを利用しています。
- ・日曜日に臨時休館していることが多いため、平常時の状態（日曜開館）に戻してもよいのではないかと。削れる予算は図書館以外にもありそうである。
- ・昨今はオンラインでのミーティングやゼミも増えてきて、そうした際に学生たちが学内のどこでアクセスできるか少し悩んでいるようです。と言いますのは、音が出ますので。図書館には個室もありますが、もしそうした環境の整備もどうしたら良いか大学として検討いただければありがたいです。あと、個人的には、休館日にも図書の返却ができれば助かります。
- ・日本語史（特に、文字・表記史、語彙史）の資料がもう少し充実していると、有難く存じます。
- ・予算を持っていない非常勤講師に対して、書籍購入希望の提出、その書籍の図書館への配架の可能性を検討してほしい。シラバス提出後に優れた文献が出版された場合、学生に紹介したくても、できない。また、司書は司書としてのプロ意識を持ってほしい。図書館利用のマナーを守っていない学生に対して指導してほしい。
- ・閉館している時も図書の返却ができるように、返却ポストを設置してほしい。セルフサービスが可能な自動貸出機も設置してほしい。返却期間が遅れた場合、カウンターで学生に強く指導している様子が見られる。学生の図書館利用を減らす一因となるので、少し遅れた場合くらいは「返却してくれてありがとう」、くらいの対応が良いと思う。

以 上